

# もみじ太鼓

平成28年度  
京都市立高雄中学校 学校だより  
なかま・夢・成長～夢を育む学び舎の創造～



## 平成28年度全国学力学習状況調査の結果について

4月19日に、本校3年生14名を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」について、結果がまとめました。本調査は、国語と数学の2教科のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されており、生活習慣と学力との関係など、本校の子どもたちの状況をお伝えします。

### 国語科より

A問題は、どの領域もほぼ全国平均並みの成績です。読み書き、古文の仮名遣いなどの中には、平均よりかなりできているものもあります。ただし、「独創」「白羽の矢が立つ」など語彙力が必要とされる問題の正答率が低くなっています。

B問題は、残念ながら全国平均を下回ってしまいました。選択式・短答式の問題はほぼ平均並みの成績ですが、記述式の正答率が低くなっています。特に「根拠を明確にして、筋道をたてて文章を書く」ことが苦手であることがわかります。

ただ、A・Bとも無回答率は低く、わからないとあきらめることなく、自分なりに問題に向き合っている姿が見て取れました。今後は、語彙力・思考力・表現力を伸ばすために、本や新聞に親しむ時間を引き続き確保していきたいと思います。授業では、「根拠をあげ、筋道をたてて文章を書く」機会を意識的に組み込みたいと思います。



### 数学科より

A問題（主に知識に関する問題）についてはほぼ全国平均程度、B問題（主に活用に関する問題）については全国平均を下回りました。

A問題の内容については、少しヒントを与えると解ける問題が多いです。しっかりと定着までいけるように、毎日の家庭学習が非常に大事です。特に、関数（1年で学習した比例・反比例、2年で学習した一次関数）が全体的に課題です。教科書などでも一度復習していきましょう。

また、授業で行っている「リピートドリル」をきちんとやり直すことも非常に有効な手段です。

B問題については、記述式（説明する問題、証明問題）が課題です。筋道をたてて、答案を通してしっかりと相手に伝える練習が必要です。

これらの内容については、これから授業での課題にもしていきます。

今まで行った定期テストや学習確認プログラムの問題ももう一度解き直すとともに、これからは入試問題も数多く解いて、進路決定にむけて最後まで頑張り続けましょう。

### 生徒質問紙調査から～基本的生活習慣について～

＜家庭学習について＞ 基本的生活習慣の調査結果から、本校生徒の家庭学習の特徴を全国平均と比べてみると「家で授業の予習をする」「家で授業の復習をする」「家で学校の宿題をする」という項目は少し全国平均を上回っています。しかし、「平日に1時間以上勉強する」「土日に1時間以上勉強する」という項目は全国平均より大きく落ち込みます。各教科では、その日の授業を家庭でもう一度復習をすることを推奨したり、学習課題を配布したりしています。このことが、家庭学習の定着に一定の効果を与えていると思われます。しかし、毎日1時間以上の学習に取り組むためには、さらなるステップ・アップの必要があります。

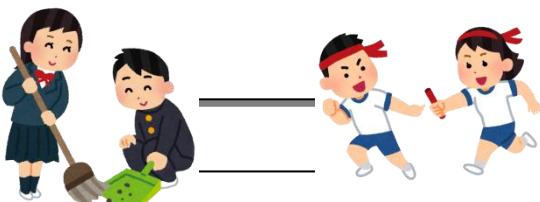
＜テレビ等の視聴について＞ 調査結果から「1日1時間以上テレビを見ない」「1日1時間以上ゲームをしない」「1日1時間以上スマホ等でメールやネットをしない」という項目で全国平均を大きく下回ります。家庭学習をしていない時間がそのままテレビ、ゲーム、スマホ等の時間になってしまっているのではないかでしょうか。

## 生徒質問紙調査から～規範意識・自尊感情・地域への関心や参画～

＜規範意識について＞「規則を守る」「いじめはどんな理由があってもいけない」「人の役に立つ人間になりたい」等については、ほぼ全国平均の値を示しました。道徳教育の充実を図り、さらに意識向上を目指す取り組みを推進したいと考えます。

＜自尊感情について＞この項目では、「将来の夢や目標を持っている」という問い合わせについては全国平均を大きく上回っていました。学校ではキャリア教育として、将来展望を持てるよう様々な行事・取り組みを通して指導をしていますが、調査結果より本校生徒の多くは将来に夢や希望を持って、その実現のために日々頑張っていることがうかがえます。また「自分には良いところがある。」という質問では、昨年度は全国平均よりかなり低い値が出ましたが、今回は全国平均を上回る値が出ています。

＜地域への関心や参画＞「地域や社会で起こっている問題や出来事に关心がある」では全国平均を上回っていますが、「地域でボランティア活動に参加したことがある」は全国平均を大きく下回りました。地域行事が活発な高雄なので、次世代を担う中学生に、積極的に地域へ参加していくことができる環境づくりを考えいかなければなりません。



## 全体を通した本校の成果と課題

本校では、「一人一人の子どもを徹底的に大切にする」という京都市の方針のもと、学力向上の取組に関しては、高雄小学校と全校調査やジョイントプログラム等の学力の情報を共有して、日々の指導方法の改善や、個に合った指導に努めてきました。

生徒も、自らのテスト結果等の成績を振り返り、弱点を補充プリントで繰り返し学習したり、自らの進路の実現に向けて進んで調べ学習をするなど、学校全体として良い雰囲気のもとで頑張ってきました。

その結果、前回調査と比べ、国語・数学ともに大きな落ち込みも無く、また学力とともに、規範意識や自尊感情の育成も図れていることが明らかとなりました。

しかし、生徒質問紙調査の結果で示したように、「平日に1時間以上勉強する」「土日に1時間以上勉強する」は全国平均より大きく下回ります。

今年度「積み重ね学習」として各教科から、毎日の課題を配っています。これにより、家庭学習の習慣化にむけては一定の成果があがっていると考えられますが、今後家庭学習の量的質的な向上に向けてさらなるステップ・アップの必要があります。



## 保護者の皆様へ



全国調査は、子どもたちの学習状況を知り、子どもたちの可能性を更に伸ばしたり、課題を解決していくためのものです。結果が学力の全てを表しているのではなく、順位を競うものでもありません。

学力は、学校・家庭・地域での地道な積み重ねにより定着していくものであり、望ましい生活習慣や日々の学習習慣がその基盤となります。今回の本校の結果をみると、これまでの調査と比べて、学力は少しずつ伸びてきており、ご家庭での子どもに対する積極的な関わりや指導・支援の成果が表れています。引き続き、子どもたちの健やかな育ちと学びの環境づくりにご協力をお願いいたします。